

第3回 奄美市医療懇話会 概要

日時：令和8年3月18日（水）19:00～20:45

場所：奄美市役所本庁舎5階会議室

■ 会次第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. アンケート結果を踏まえた意見交換
4. 地域医療体制・人材確保等に関する協議
5. その他

■ 主な委員意見

- 開業医の減少や経営悪化への対応を図る地域医療維持対策が必要。
- 島内で医療人材を育成・定着させる小中高の教育環境づくりが重要。
- 病院だけで地域医療を支えることは限界があり、診療所との協力体制が必要。
- 診療所や看護人材を維持するための支援策とデータ分析が必要。
- 病院・診療所・介護福祉機関の連携は奄美の大きな強み。
- 看護師・介護士不足により医療提供体制維持が厳しい状況にある。
- 勤務医の認識は自らのものとも一致。他地域と比較した優位性などについても、行政による正確な医療情報発信が住民の安心につながる。
- 地域医療を支える人材育成のために行政・医療が連携した奨学金や生活支援制度の検討も価値がある。
- 行政が島の魅力を発信することが医療人材の確保につながっていく。

○行政・医療機関のそれぞれの強みを生かすことを共有しながら、お互いの役割について議論を進めるべき。

■ その他（報告事項）

- ・住用診療所について、令和８年度から新体制（公設公営）で診療開始予定であることが報告された。
- ・奄美市医療機関等物価高騰対策支援事業として、県事業と連携した診療所等への支援金制度が説明された。
- ・奄美看護福祉専門学校の存続支援に向けて医療機関としてできることの議論を深めることや、地域医療シンポジウムにおいて懇話会で議論している内容などについて市民への共有を図る提案があった。